



業務
内容

受託臨床検査、医薬品販売、
医療材料販売、調剤事業

導入
目的

電子カルテシステムと連携した
検査依頼システムから、検体容器に
貼付するバーコードラベルを出力する。

導入
機種

ピータッチ QL-700 / 20台
ピータッチ QL-580N / 70台

■会社概要 (2011年6月現在)

設立	1970年4月(1967年5月創業)
所在地	広島県福山市草戸町1-23-21
資本金	4800万円
代表者	代表取締役 近本肥子
事業所	本社/福山 支所/東京、大阪、神戸、米子、岡山、広島、呉、 三次、東広島、周南、下関、高松、松山、福岡、北京
従業員	389人(正社員)
URL	http://www.fmlabo.com/

先進的な臨床検査システムと感熱ラベルプリンターを 連携させ、病医院から依頼される検査業務を大幅に合理化!

! QLシリーズ導入の背景

先進システム「FMi/FMo」で
病医院から依頼される
検査業務を一挙に合理化。

- 転記の手間や作業ミスが課題
- 従来の検査依頼手法を改善
- FMi/FMoで一挙に作業合理化

臨床検査業界の大手企業である株式会社福山臨床検査センター様は、病医院から預かった血液などの検体を検査分析する業務を行っています。従来の検査依頼は、専用の手書き依頼書や、電子カルテから出力された電子媒体で行われていました。しかし患者氏名などを検体容器に転記する手間や、検体の取り間違えのリスクなどの課題があり、その解決のために電子カルテなどと連携した新しい検査システム「FMi/FMo」を開発しました。これにより、検査依頼から結果報告までが一挙に合理化されました。

! QLシリーズを選択した理由

複数のラベルプリンターを
比較検討、安価な総導入コストと
最適なラベルサイズで選定。

- バーコードラベル出力可能
- 安価な総導入コスト
- 優れた印字品質

新しい検査システムを運用するためには、病医院で検体容器に貼付するバーコードラベルを出力する必要性がありました。同社は複数のラベルプリンターを比較検討した結果、ブラザーの感熱ラベルプリンターQLシリーズを選定しました。その理由は、まず低コストであったことです。お客様が導入しやすいように消耗品も含めた総導入コストが安価であることが絶対要件でした。また検体容器に貼付するのに適したサイズのラベルが豊富だったこと。そして同社の検査基準に適合した解像度300dpiの優れた印字品質、ラベル耐久性も重要な要因でした。

! QLシリーズ導入の成果

病医院と一体になった
ミス撲滅と作業合理化が、
医療業界などから高く評価。

- 病院の依頼作業を大幅合理化
- 作業の手間とミスを改善
- 同社の信頼性も大きく向上

新しい検査システムとラベルプリンターの導入により、病医院の検査依頼作業は大幅に合理化されました。まず患者氏名などを転記する手間と間違いが皆無になったこと。ネットワーク標準モデル(QL-580N)導入の病医院は、医師の検査指示が院内LANを通じて瞬時に製品本体に送られ、バーコードラベル出力されるため、検体容器の種類の判別が容易になり、作業ミスがなくなったことも大きなメリットでした。病医院と一体となってミス撲滅と作業合理化を実現した同社の姿勢は、医療業界や臨床検査業界から、高く評価されています。

ご購入いただいた代表的機種

ピータッチQL-700

高速・解像度300dpiで、最適なバーコードラベル。
低価格・コンパクトサイズで検査業務を強力支援!



安価な導入/運用コスト

豊富なラベルサイズ

優れた印字品質

※製品の詳しい仕様は裏面をご覧ください。

■新しい臨床検査システム「FMi/FMo」と「バーコードラベル」による検査業務のプロセス

QLシリーズから出力されたバーコードラベルにより、検査プロセスが大幅に合理化されました。



1 医師の検査指示によるバーコードラベル出力

医師が必要な検査項目をPC上から指示すると、情報は瞬時に採血室などに送られます。A4プリンターからは「検査依頼書」を出力。同時にラベルプリンターからは検体容器の種類、患者氏名、バーコードなどが印字された検体容器貼付用のラベルが出力されます。



2 検体容器へのバーコードラベル貼付

出力されたバーコードラベルは、医療スタッフらによって検体容器に貼付されます。ラベルには、検体容器の種類が明記されているため、容器の取り間違いもありません。医師からの指示を、間違えることなく極めて効率的に実行する作業フローが実現しています。



3 同社スタッフによる検体回収

検体の回収は、同社スタッフの巡回により1日数回行われます。同社は地域医療密着型の検査を強みとしており、各支所にもラボを併設。最新設備の導入を進め、すべての事業所で精度の高い迅速な検査を実現しています。



4 検査依頼書の基幹システムへの登録

回収された検体容器と検体依頼書は、各支所のPC端末から基幹システムへ登録されます。通常の検査は各支所の検査ラインへ、特殊な検査などは基幹ラボへ送られ、必要に応じて迅速な検査が行われます。



5 各支所ラボでの検査

緊急の検査は、各支所に設置された自動分析装置などにかかけられます。検体容器に貼付されたバーコードラベルにより、検査作業は自動化され、数時間後には検査結果報告書が病医院にフィードバックされます。



6 基幹ラボの検査ラインによる検査

特殊な検査などは、基幹ラボの検査センターで行われます。検査は24時間365日行われており、毎日約2万検体が自動処理されます。検査依頼情報と検体の照合、検体分取や各分析装置での検査まで、すべてバーコードによる自動運用を実現しています。

■お客様の声

当社の臨床検査システム「FMi/FMo」の運用にあたり、ブラザーのQLシリーズは最適なラベルプリンターでした。

株式会社 福山臨床検査センター | 営業本部 本部長 | 小林 広明 様



ブラザーのラベルプリンターQLシリーズを、高く評価しています。当社の臨床検査システム「FMi/FMo」と連携する複数のラベルプリンターを比較検討したのですが、コストが安価で、ラベルサイズが最適であり、耐久性などの品質に優れていることが選定の決め手でした。病医院にとっても、氏名の転記ミスがなく、検体容器の取り間違いがなくなり、お客様の作業負担も軽減するなど、きわめて多くのメリットがありました。

■病医院ドクターの声

検査指示が的確に伝わり、しかも作業が効率化される。この仕組みは、私が求めていた理想の検査システムでした。

リバーサイド内科クリニック | 院長 | 山下 郡司 様



福山臨床検査センターからのお勧めで、臨床検査システムとラベルプリンターを導入しましたが、非常に素晴らしい仕組みだと感じています。検査依頼書を手書きしなくなったことで、カタカナの「ン」と「ン」の判別ミスなどがなくなり、また検査指示が看護師に的確に伝わるようになりました。ミスがなくなり、しかも作業の効率化を実現したこのシステムは、私が求めていた理想に近いシステムだと評価しています。

■出力見本 (原寸大)



■ピータッチQL-700の概要

- 印刷方式:感熱方式 ●印字ヘッド(解像度):300dpi
- 最大印字領域:59.0mm(62mm幅テープ使用時)
- 印字速度:最大150mm / 秒
- カッター寿命:約30万回(プレカット紙ラベルのみ)
- 本体サイズ:128(W) x 221(D) x 153(H)mm
- 本体質量:約1.12kg ●電源:AC 100V 50/60Hz
- インターフェイス:USB2.0フルスピード ●ラベル幅:29mm~62mm
- ラベル長:12.7mm~1.000mm(1m)



USB接続モデル
ピータッチQL-700



ネットワーク接続モデル
ピータッチQL-580N

・ピータッチはブラザー工業株式会社の登録商標です。

導入事例紹介サイト



ブラザー製品により、さまざまな課題を解決し業務改善に成功された事例の数々をご紹介します。
<http://www.brother.co.jp/product/houjin/>

このカタログの掲載商品、並びに内容についての詳しいことは、お近くの販売店でご相談ください。もし、販売店でお分かりにならないときは、下記ブラザーコールセンターまたはブラザー販売(株)の営業部におたずねください。
●受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00平日(月~土)*日曜・祝日・弊社指定休日を除きます。
北海道/011-221-5775 東北/022-227-8885 東京/03-3274-6984 中部/052-824-3196 関西/06-6310-8863 中四国/082-240-3781 九州/092-481-1560